

目次

1. 取扱上の注意.....	2 ページ
2. 設置・運営上の注意.....	3 ページ
3. 各部の説明.....	4 ページ
4. 付属部品.....	5 ページ
5. サービスドア内部.....	6 ページ
6. メンテナンスドア内部.....	6 ページ
7. コンパネベースボックス内部.....	7 ページ
8. モニターの調整.....	8 ページ
9. ゲームボードの交換.....	9 ページ
10. コントロールパネルの交換.....	10 ページ
11. モニターの縦横転換.....	11 ページ～13 ページ
12. モニターの交換方法.....	14 ページ～16 ページ
13. パーツリスト.....	17 ページ～31 ページ

1. 取扱上の注意

本製品の設置や点検の際、取扱には下記の点に充分注意してください。

本書記載の注意事項に反する不適切な取扱いは事故や機械破損の原因となります。



- 作業は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。感電や故障の原因となります。
- 電源プラグは急に抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
- 濡れた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電事故の原因となります。
- 電源コードやアース線は通路上などに露出しないでください。
- 電源コードの上には物を置いたり、傷を付けたりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 設置時、または設置後に電源コードを不必要に引っ張らないでください。コードが傷つくと、火災や感電の原因となります。
- アースの接地は必ず行ってください。適切に接地していないと感電の原因となります。
- 指定された定格のヒューズを使用してください。指定の定格以上のヒューズを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源電圧は、AC95～110V の範囲で使用してください。最良の状態でお使いいただくためにできるだけ AC100V でお使いください。
- 本機を無断で改造・仕様変更しないでください。改造した場合は予期せぬ危険が生じることがあります。当社仕様でない状況で事故が発生した場合、当社は第三者への賠償責任も含め一切の責任を負いません。
- 万一、以上が発生した場合には、ただちに電源スイッチを **OFF** にして運営を中止し、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。異常を放置したまま運営すると、火災や事故の原因となります。

保証について

本製品の保証期間は弊社出荷日より 3 か月です。保証期間内に弊社の責に帰す事由により発生した障害については、弊社が無償修理致します。障害が発生した時は、使用を止めて、電源プラグをコンセントから抜き、弊社商品部までご連絡ください。

なお、天災等の不可抗力に起因する障害、冠水や機器の落下破損による障害、操作上の誤りに起因する障害、本製品以外の他の機器に起因する障害等は保証適用除外となります。また、本製品の使用不能による利益損失、間接の損害に対しては一切責任を負いません。

株式会社アールエス 本社 商品部 TEL 092-622-1337 FAX 092-622-1348

2. 設置・運営上の注意



- 本製品は屋内用のゲームマシンです。屋外へは設置しないでください。また、屋内でも次のようなところには設置しないでください。
 - ・ 雨漏り、漏水するところ、あるいは室内プール、シャワーの周辺など湿度の高いところ
 - ・ 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くなど、温度の高いところ
 - ・ 可燃ガスが充満するところや、引火性、揮発性の強い薬品または危険物の周辺
 - ・ ほこりの多いところ
 - ・ 傾斜面
 - ・ 振動のはげしいところ
 - ・ 非常口、消火器など防災設備の周辺
 - ・ 使用適用温度 5℃～30℃の範囲を超えるところ
- 必ず漏電遮断器を備えた電源を単独で使用してください。漏電遮断器のない電源を使用すると、漏電発生時に出荷の恐れがあります。
- タコ足配線はしないでください。過負荷による発熱・火災の原因となります。
- 本製品を運営・営業するには、最低幅 0.9m、奥行き 1.6mの面積を確保してください。
- 本製品を搬入するには、戸口の寸法が最低幅 0.9m、高さ 1.6m必要です。



- 本製品の設置後、アジャスターが全て着地しているか確認してください。着地していないと、プレイ中にキャビネットが移動して事故の原因となります。
- 本製品の上に重量物を置かないでください。落下事故や部品破損の原因となります。
- 本製品の上に登らないでください。落下、転倒事故の原因となります。
- ドア、カバー部品に破損、脱落はないか確認してください。感電事故の原因となります。
- 本製品の上、コントロールパネルの上、シートの上、天井や周辺に、花瓶、コップ、薬品等の水分が入った容器などを置かないでください。感電や部品破損の原因となります。
- 下記該当者はプレイさせないでください。事故や怪我の原因となります。
 - ・ 歩行に介助が必要である方 ・ 高血圧、心臓疾患のある方
 - ・ 過去にテレビゲームなどで一時的に筋肉の痙攣や意識喪失を経験した方
 - ・ 首や脊椎に疾患のある方 ・ 妊娠している方
 - ・ 乗り物に酔いやすい方
- 本製品を叩く、蹴るなどの乱暴な行為は直ちに止めてください。部品破損や転倒の原因となり、傷害事故の恐れがあります。

3. 各部の説明



NEW DELTA SPEC

Cabinet	SIZE	W: 820 D: 820 H: 1530
	WEIGHT	135kg
	POWER CONSUMPTION	220W
Monitor	SIZE	32inch TFT LCD
	RESOLUTION	15K~1360 × 768 auto change
With I/O・Power Supply = 5V 12V 3.3V 0V		
One touch change of Screen to Vertical or Horizontal		
PCB Interface for New JAMMA & Old JAMMA		

4. 付属部品



取扱説明書（本書）



コンパネキー×1 本



鍵 001（サービスキー）×1 本



50 円エントリープレート



鍵 002（金庫キー）×1 本



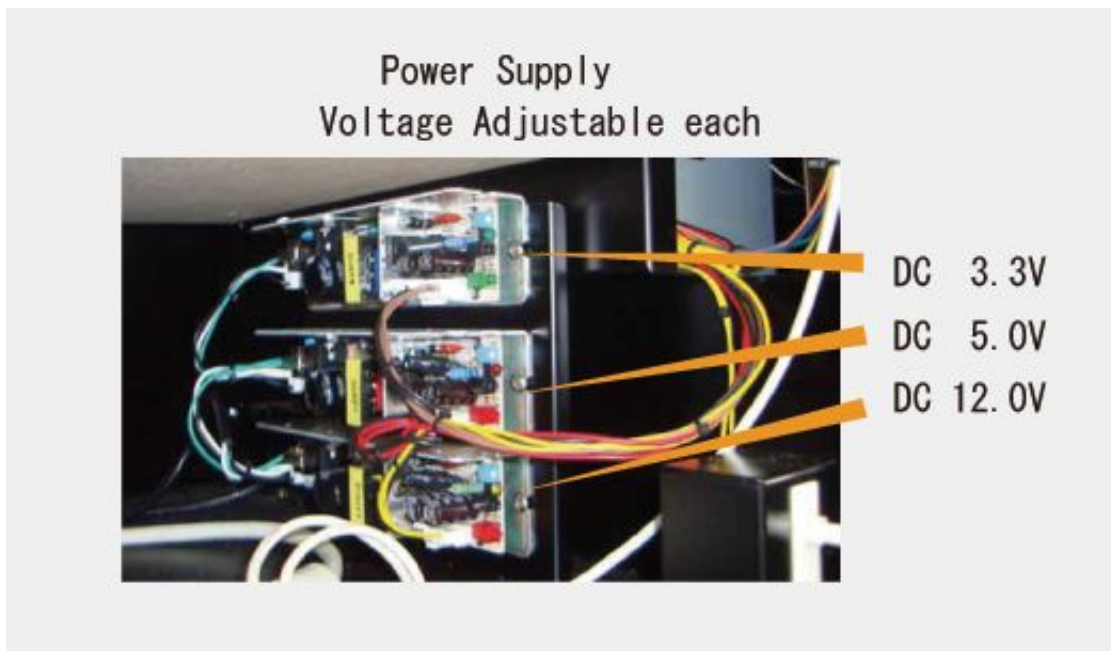
エントリーシール 50 円

エントリーシール 100 円

エントリーシール 100 円 2PLAY

エントリーシール MEDAL

5. サービスドア内部



- 3.3V LED : 緑のLED ランプです。電源投入時は点灯しています。
- 5V LED : 赤のLED ランプです。電源投入時は点灯しています。
- 12V LED : 橙のLED ランプです。電源投入時は点灯しています。
- 3.3V 電圧調整: 3.3V の電圧調整ボリュームです。
- 5V 電圧調整 : 5V の電圧調整ボリュームです。
- 12V 電圧調整: 12V の電圧調整ボリュームです。

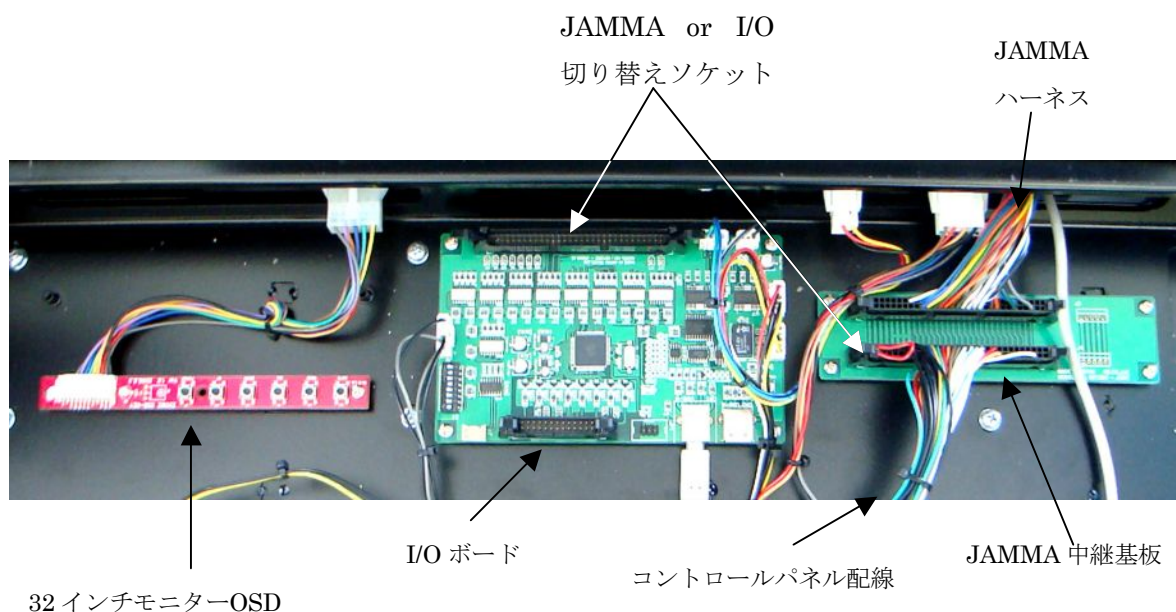
注：電圧は工場出荷時に調整済みです。出荷時調整のままご使用ください。むやみに変更すると、IC ボードの破損や誤作動の恐れがあります。

6. メンテナンスドア内部



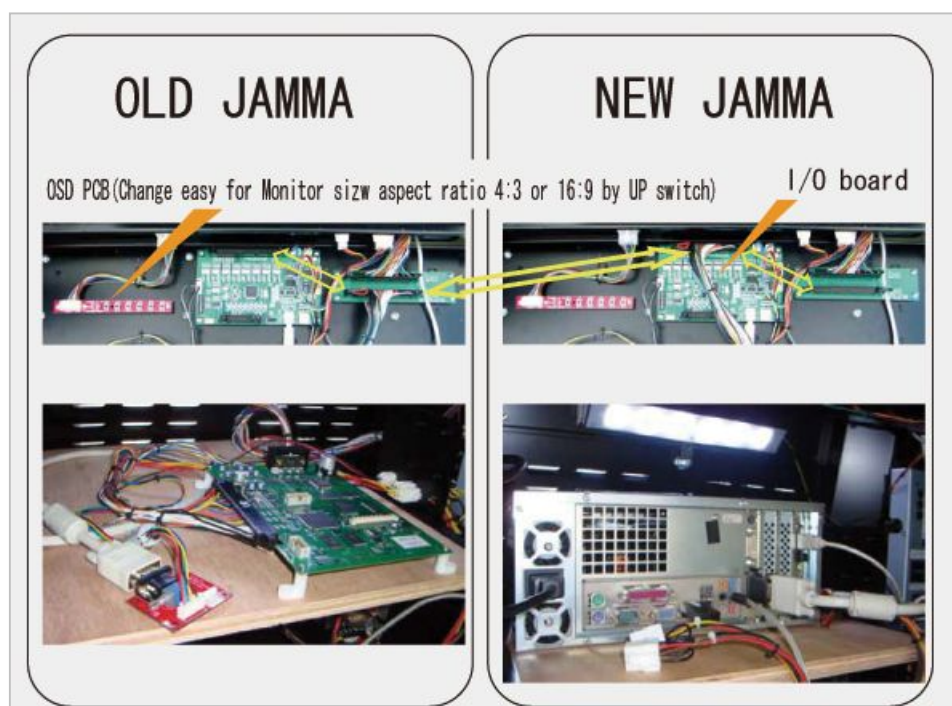
- SERVICE 1 : サービスクレジットスイッチです。コインメーターはカウントしません。
- SERVICE 2 : 2P 用のサービスクレジットスイッチです。
- V/R : サウンドの音量調整つまみです。左に回すと大きくなります。
- T/R : サウンドの音質調整つまみです。左に回すごとに高音から低音に変わります。
- METER1 : コインカウンターの数字を表示し、硬貨枚数をカウントします。
- METER2 : 通常は使用しません。
- POWER S/W : 主電源スイッチです。

7. コンパネベースボックス内部



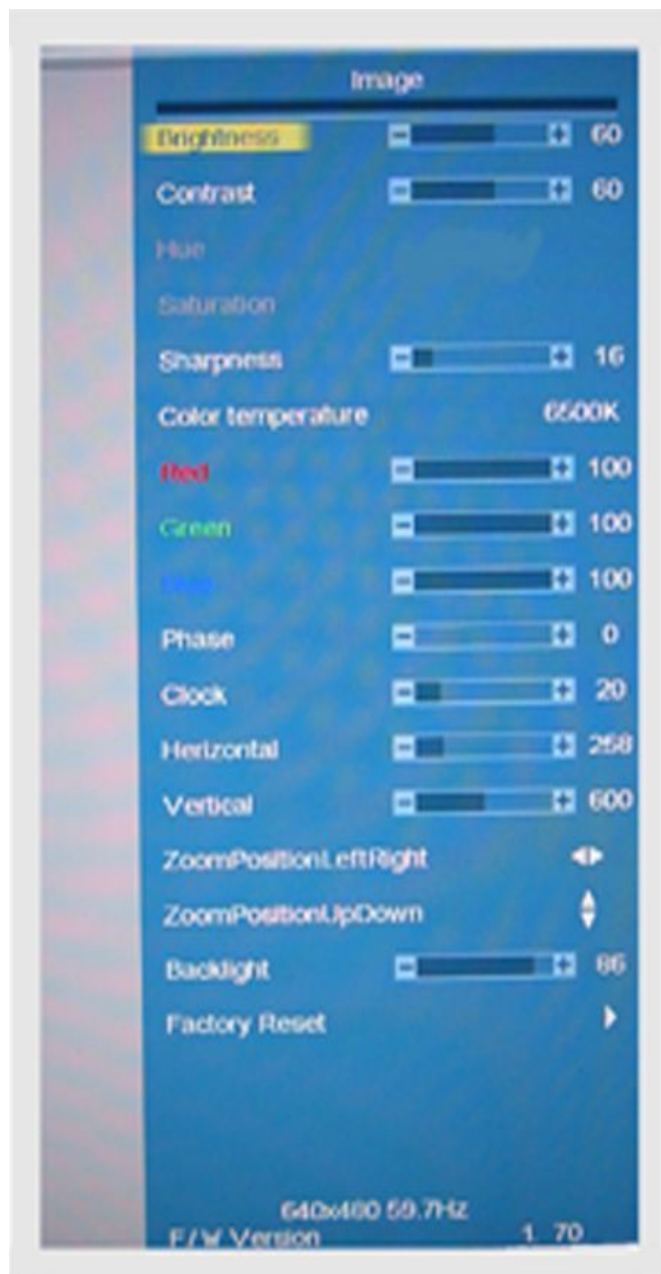
- I/O ボード
映像、音声以外の入出力信号（テスト、サービス、コインスイッチ、メーター、コントロールパネル等）を制御する基板です。
- コントロールパネル配線
コントロールパネルの発射ボタンやジョイスティックからの配線です。セットするゲーム基板に応じて、I/OボードもしくはJAMMA中継基板のソケットに差し替えます。
- 32インチモニターOSD
32インチモニターの調整に使用します。

旧 JAMMA ・ 新 JAMMA 基板接続例



8. モニターの調整

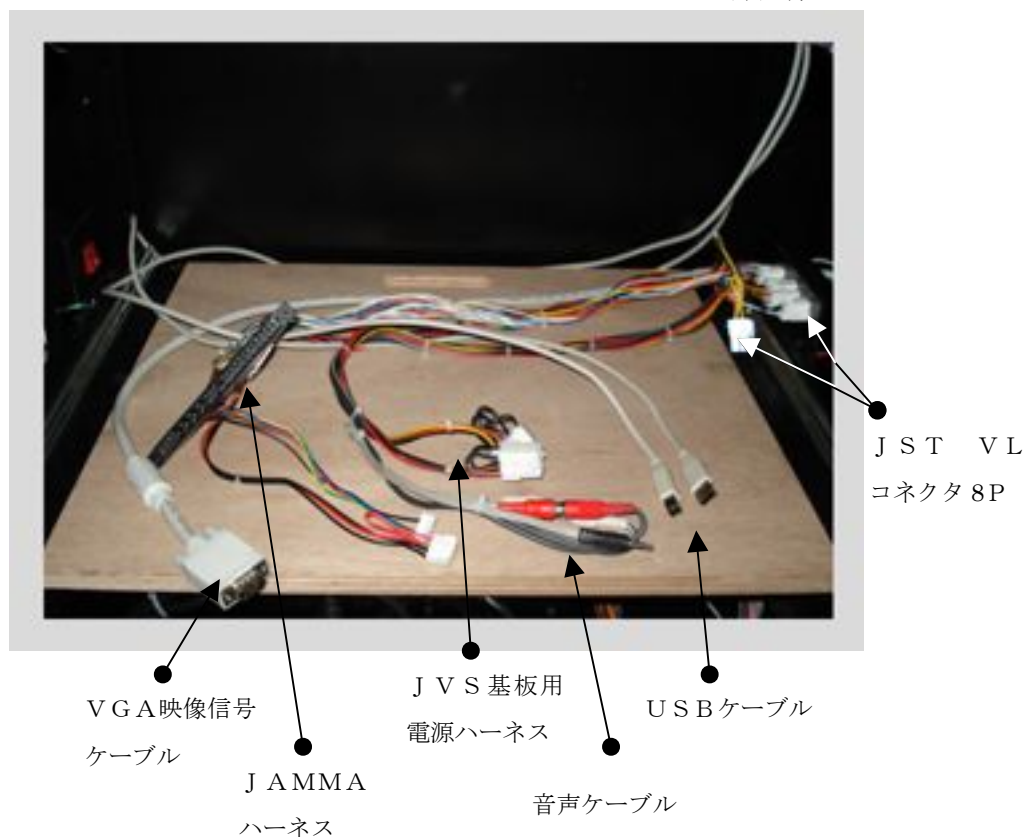
モニターの調整はコンパネベースボックス内のモニターOSDで行います。調整方法は32インチも20.1インチも同様です。ここでは32インチを例にとって説明します。



- 調整作業は主に AUTO、MENU、SEL、DOWN、UP、の5つのボタンで行います。
- AUTO を押すと映像の表示位置を自動調整します。1度で合わない場合は数回押してください。
- MENU を押すと左の OSD メニューが開きます。SEL で調整項目を選択し、DOWN、UP で調整値を変更します。
- Horizontal は水平方向の大きさを調整します。
- Vertical は垂直方向の大きさを調整します。
- ZoomPositionLeftRight
映像表示位置の左右を調整します。
- ZoomPositionUpDown
映像表示位置の上下を調整します。
- MENU+UP でオートカラーとなりカラー調整が工場出荷時に戻ります。
- POWER ボタンでモニターの電源の On、Off ができます。
- LED LAMP
正常な状態では緑に点灯。赤色点灯時はモニターに通電時に映像信号が未入力の状態、橙色に点灯している時はモニターに電源が入っていない状態です。

9. ゲームボードの交換

サービスドア内部画像



- 感電事故を防止するために、本製品内部に触れる作業の前に必ず電源を切ってください。
- 配線を傷つけないように注意してください。配線を傷つけると、感電、事故の原因となります。

このゲーム機には JAMMA 規格、JAMMA VIDEO 規格(JVS)の両方のゲームボードが使えます。使用するゲームボードに応じて、JAMMA ハーネス、JVS 基板用電源ハーネスを使い分けてください。その際、使用するハーネスに応じて JST VL コネクタ 8P(オス)を差し替えてください。コネクタの 4 番、8 番に 3.3V の配線(茶色)がある方が JVS 用です。

10. コントロールパネルの交換



- 作業は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。感電や短絡事故の原因となります。
- 配線を傷つけないように注意してください。配線を傷つけると、感電、短絡事故の原因となります。



- コントロールパネルベースを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。
- コントロールパネルベースは自重で不意に閉まり、手や指を挟む事故の原因となります。ベースを開いて作業する時は、しっかり支持してください。

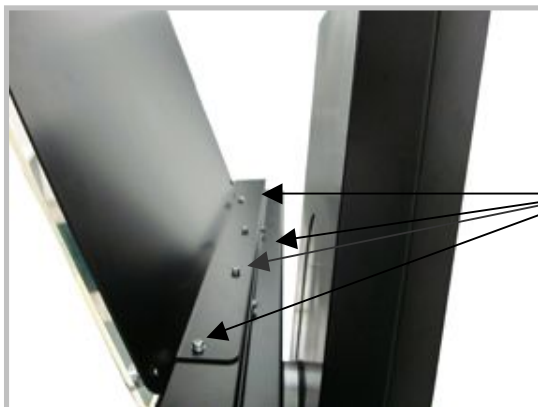


コントロールパネルの交換は、まず最初にコンパネベースの鍵を開け、コントロールパネルを手前に引き起こします。鍵は時計回りに回します。



コントロールパネルは、M4 の根角ビスで裏側からフランジナットで6箇所を固定してありますので、最初に配線を引き抜きベースにもつれないように束ねてから、ナットを外して交換してください。

11. モニターの縦横転換



まず手始めにビルボードを外します。
ビルボードを固定している、ネジ4本を外してください。

ネジ



ビルボードを外した状態です。



次に筐体背面のネジ2本を外し、カバーを開けます。

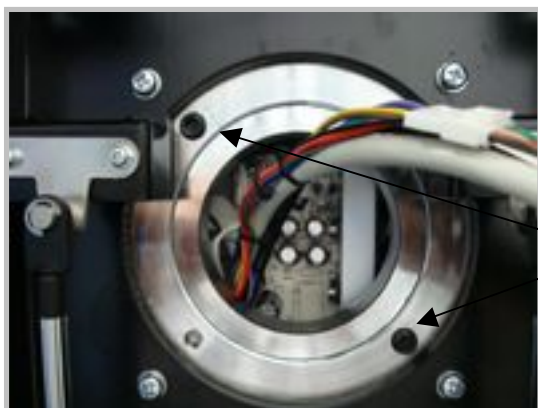
ネジ



モニターの上下動作を固定しているレバーを手前に引き、取っ手の部分を持ち、モニターを一番上の部分までスライドさせます。



モニターを最上部までスライドさせた状態です。



モニターの回転を固定しているイモネジを弛めます。

イモネジ



正面に回り、モニターを反時計回りに回転させます。



逆の手順で、イモネジを締めてモニターの回転を固定してください。

12. モニターの交換方法



警告

- モニターの取り付け、取り外しやモニター内部およびモニターに接続されている外部コネクタの抜き差しを行うなどの作業の際は、必ず最初に電源コネクタを抜いてください。そのまま作業をすると、感電や故障の原因となります。
- 必ず電氣的知識を持つ技術者が作業に当たってください。技術者以外の者が作業すると感電事故等の原因となります。
- 安全に作業を行うために、十分な空間を設けてください。狭い場所で作業を行うと、事故や作業ミスの原因となります。
- 配線を傷つけないように注意してください。配線を傷つけると、感電、短絡事故の原因となります。



注意

- 交換作業は、最低でも2人以上の人数で行ってください。モニターは重量物です。1人で作業を行うと、落下や部品破損を招き、故障や事故の原因となります。

モニターの裏側のカバーを外し、モニターを一旦縦画面にします。

モニターカバーを留めている8個のネジのうち内側の4個を外します。



モニターを横画面に戻し、モニターカバーを留めている残りの4個のネジを外します。



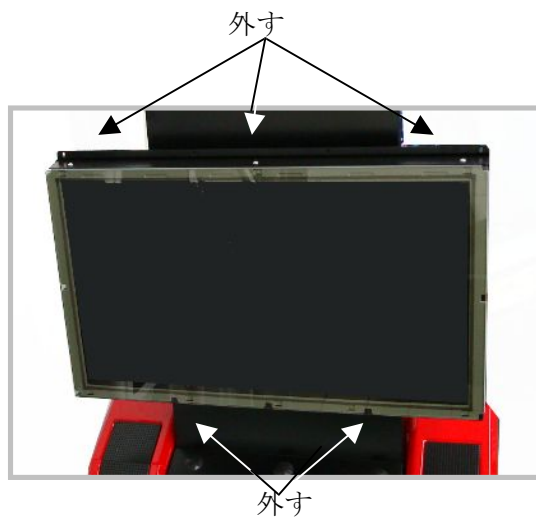
正面よりモニターのカバーを手前に引き、外します。



後ろ側に回り、筐体とモニター本体を繋いでいるコネクタを引き抜きます。



モニターを本体に固定しているネジ5本を外します。



表面のガラスごとモニター本体を引き抜きます。
配線、基板などを傷つけないように注意してください。



逆の手順で交換分のモニターを取り付けてください。